

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月 19日

事業所名 デイセンターのびろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			活動内容によってはスペースを他に確保することが	指定基準に基づき十分に確保している
	2	職員の配置数は適切である	3				指定基準に基づき十分に確保している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3			階段の手すりあり、現在の利用児童の支援に支障なし今後配慮が必要な場合改善に努める
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3				全職員で適宜、相談、振り返りを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3				まだ向上を図る点はあるがアンケートの意向を把握し改善を図っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3				法人HPにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3		定期的に第三者訪問をしてもらい業務改善へつなげていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3				定期的に研修を行い、又外部研修へ参加し全職員へ報告 共有している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3				保護者との面談要望アンケートや利用者の声にて特性を分析。職員間で共有・作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3				法人で作成したアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3				職員から提案を加味し、定期的に行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3				季節の行事を取り入れたり、個々のニーズや状態に応じたプログラムを意図的、計画的な支援をもって行う
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3				平日、長期休暇の利用時間を考慮し長期、短期、の課題や目標を設定し意図的、計画的な支援を行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3				ニーズの把握とアセスメントの下、利用児童の状況に合わせ、集団・個別活動を組み合わせ作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3				毎日、支援前に前日の振り返りや当日の活動、支援内容等を全職員で確認、共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3				毎日、支援終了後、その日の振り返りや連絡事項、翌日の日程、業務の確認し共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3				個別記録を毎日とり、その内容を全職員で共有し、支援の改善を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				定期的にモニタリングを行い、その時のニーズや発達段階に合わせて計画の見直し、作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3				ガイドラインの総則を基本に、各種活動、支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			児童発達管理責任者、もしくはその担当者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3			学校への送迎時や連絡帳、必要に応じては電話連絡にて情報共有連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3		医療的ケアが必要な子の受け入れ体制はあるが、現在、必要性のある児童の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3		保護者との面談要望アンケートや利用者の声にて特性を分析。職員間で共有・作成している
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3			卒業後移行する事業所へこれまでの支援内容や特性などをまとめた「情報提供書」を作成し、引継ぎを行っている。必要に応じて移行事業所とケア会議を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			3	研修への参加し連携が図れるよう今後努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			3	平日の利用時間が短く、なかなか行っていない。今後は長期休みを利用し計画していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3			児童発達管理責任者が参加。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			連絡帳や送迎時、必要な時には電話にて連絡報告し、共通理解に努める。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3			送迎時や相談等があった時個別ではあるが助言を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			児童発達支援管理責任者によって、面談時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			その都度助言を行い、またその内容を全職員で共有し支援に繋げている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3			親子レク、保護者懇談会を定期的に行っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			苦情受付の窓口を設けている敏速に対応する体制は整っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			毎月、たより(行事予定表等)を発行している。HPやブログにて発信している。
	35	個人情報に十分注意している	3			取り扱いには十分に配慮している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			ベビーサイン・絵カード・写真を使用し工夫している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3			社会福祉法人の社会貢献活動での事業でジンプアエ共和国のコンサートを主催し地域の方への呼びかけし支援している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		3		緊急時対応マニュアルは職員周知。その他は策定できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			年2回、避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			法人内研修・外部研修へ参加し全職員で情報共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			3	現在、身体拘束を必要とする利用児はいない。今後必要性があれば全職員で検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			3	対象児童はいない。今後必要があれば対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			ヒヤリハットあり。法人職員全体ミーティングにて報告・周知し改善に取り組んでいる。